

2014年9月期
第2四半期決算説明会

2014年5月1日

株式会社セプテーニ・ホールディングス
<http://www.septeni-holdings.co.jp>
証券コード：4293



1. 四半期連結決算概要
2. ネットマーケティング事業
3. メディアコンテンツ事業
4. 2Q累計の連結業績と3Q業績予想
5. 補足資料

※本資料の表・グラフに記載の金額は全て百万円単位で表示しております。

1. 四半期連結決算概要

売上高 14,246百万円（前年同期比23.2%増）
営業利益 611百万円（前年同期比27.4%増）

- 売上高は四半期ベースでの過去最高を大幅に更新

ネットマーケティング事業の業容拡大が加速

- 前年同期比26.8%増の大幅増収を達成、営業利益は20.2%増
- モバイル・ソーシャル・グローバルの各注力分野が高成長

メディアコンテンツ事業の営業赤字は前年同期とほぼ同水準に

- モバイルゲーム事業は底堅く推移
- マンガコンテンツ事業の先行投資を拡大

	2014年9月期 2Q			2013/9期 2Q (前年同期)		2014/9期 2Q 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
売上高	14,246	100.0%	+23.2%	11,566	100.0%	13,300
売上総利益	2,516	17.7%	+14.3%	2,202	19.0%	—
販売管理費	1,905	13.4%	+10.6%	1,722	14.9%	—
営業利益	611	4.3%	+27.4%	479	4.2%	580
経常利益	642	4.5%	+18.5%	542	4.7%	580
当期純利益	375	2.6%	-31.6%	549	4.8%	350

ネットマーケティング事業の業容拡大が連結業績を牽引

- 売上高は業績予想を約9億円上回り**過去最高**を大幅に更新
- 売上総利益は**25億円を突破**
営業利益、経常利益とともに2014/1Qに次ぐ過去2番目の水準に

前年2Qにグループ会社売却に伴う特別利益313百万円を計上した反動で当期純利益は減益に

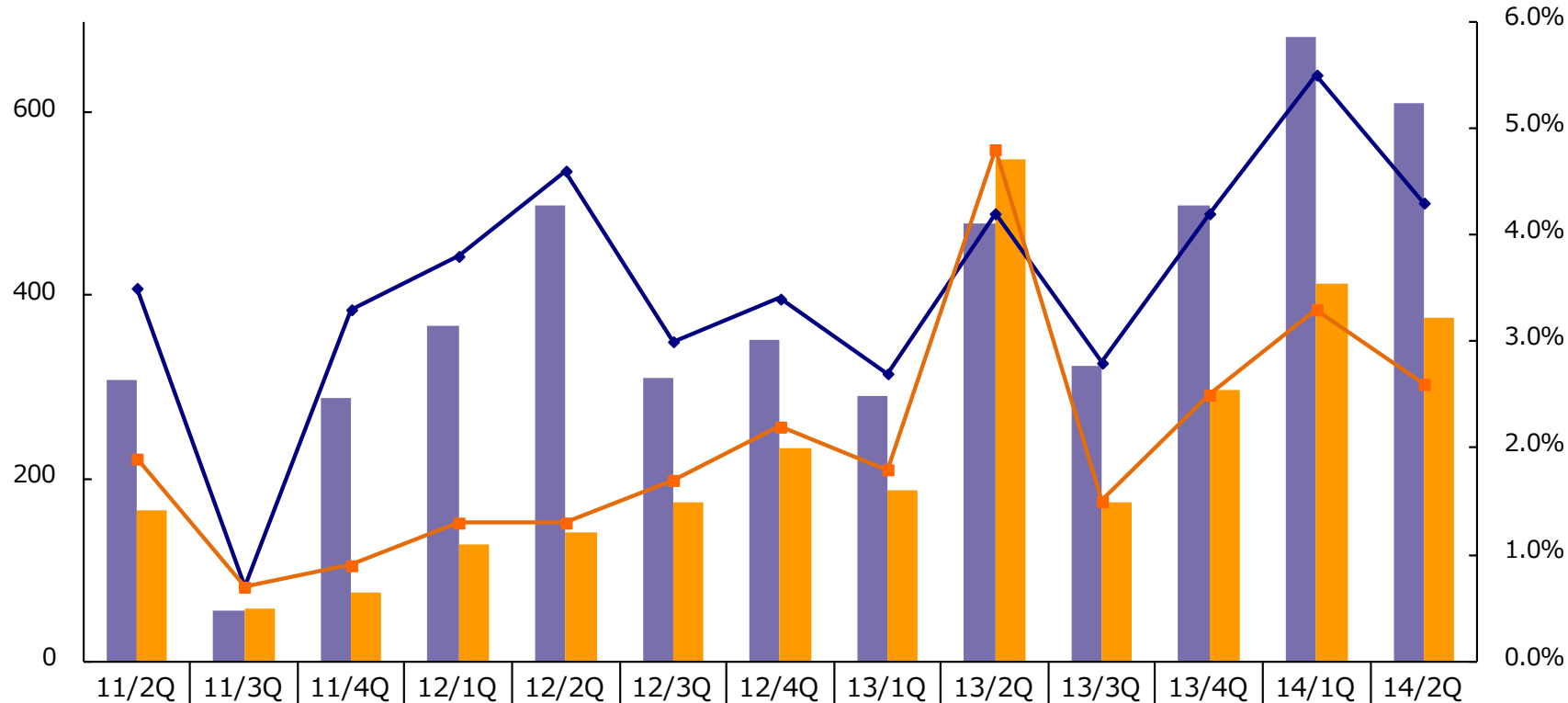
売上高・売上総利益

→ 売上高は過去最高を大幅に更新



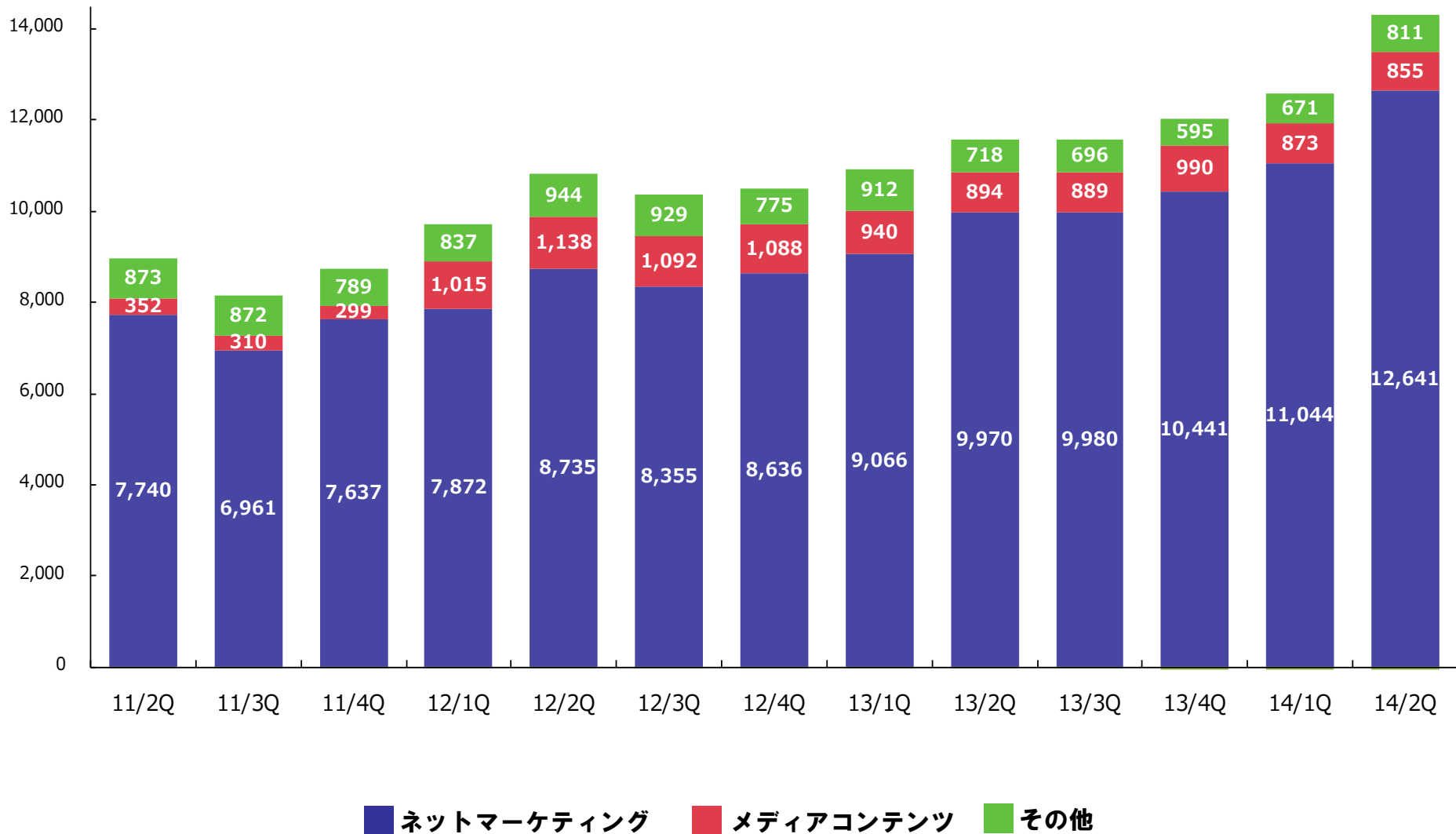
営業利益・当期純利益

→ 営業利益は前年同期比**27.4%増**

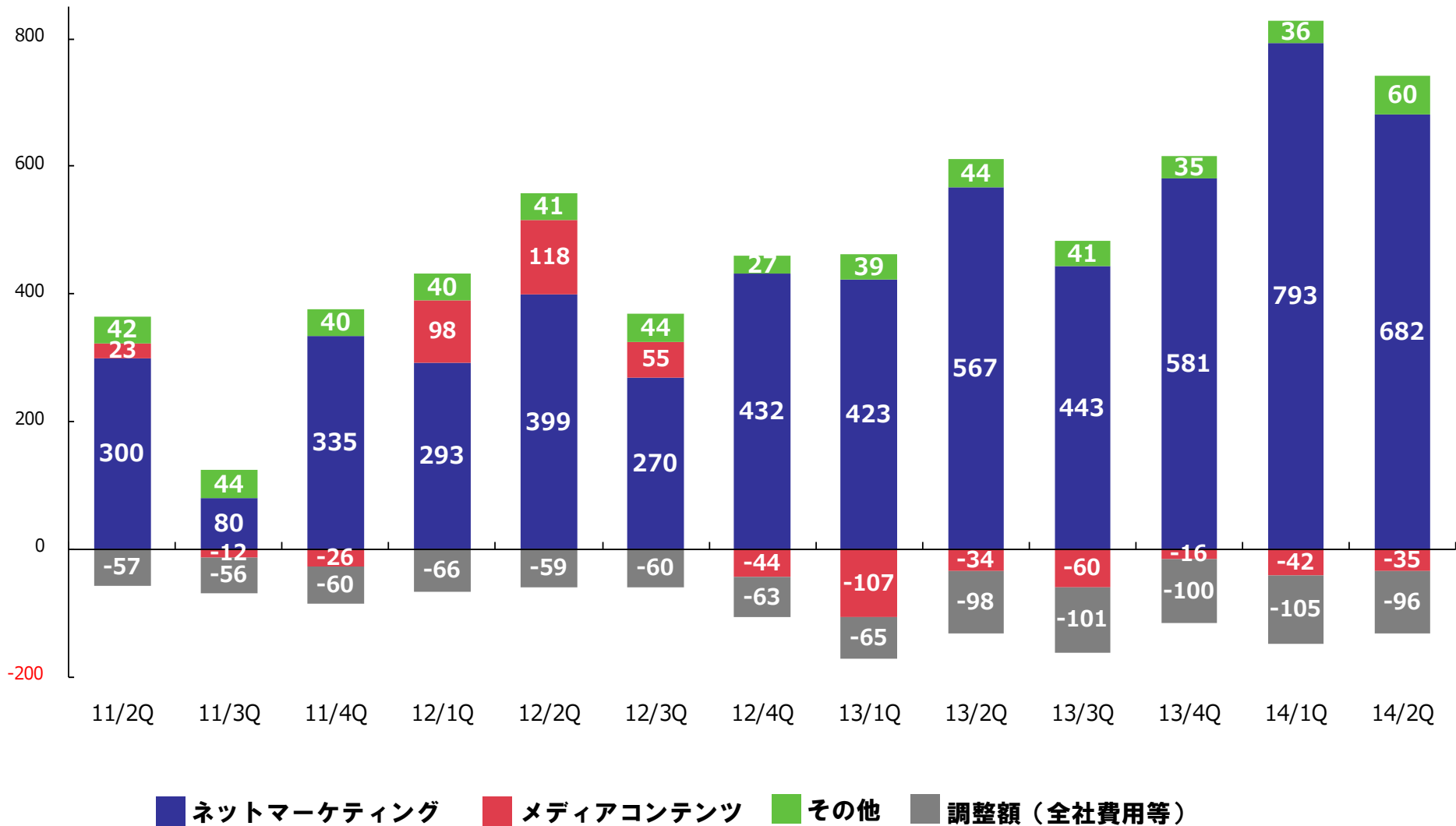


営業利益	308	55	288	366	498	310	351	290	479	323	499	682	611
当期純利益	166	58	76	128	141	173	233	186	549	174	296	413	375
営業利益率	3.5%	0.7%	3.3%	3.8%	4.6%	3.0%	3.4%	2.7%	4.2%	2.8%	4.2%	5.5%	4.3%
当期純利益率	1.9%	0.7%	0.9%	1.3%	1.3%	1.7%	2.2%	1.8%	4.8%	1.5%	2.5%	3.3%	2.6%

売上高

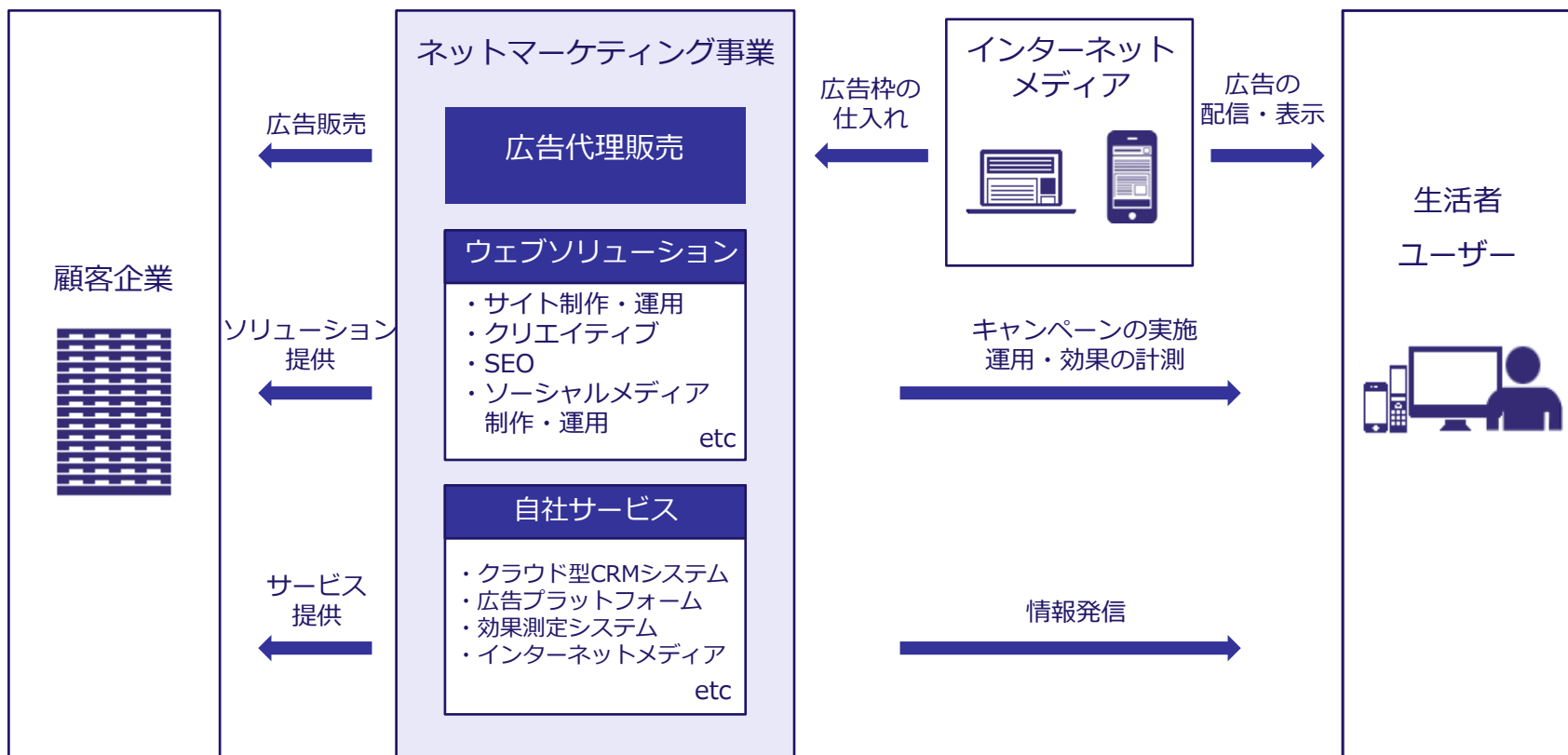


営業利益



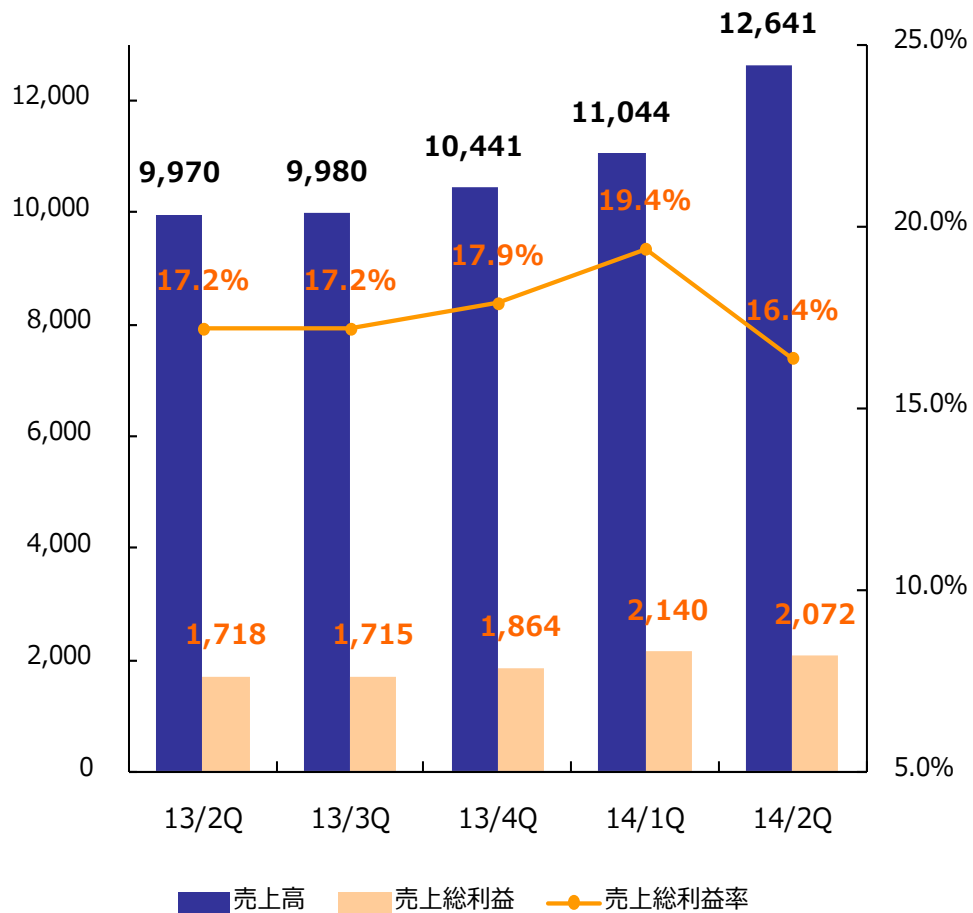
2. ネットマーケティング事業

インターネットを活用した包括的な**マーケティング支援サービス**を企業向けに展開。
 インターネット広告の販売や各種ウェブソリューションの提供をはじめ、
自社サービスとしてアドネットワーク等のマーケティングプラットフォームや
 クラウド型CRMサービスの運営も手がける。



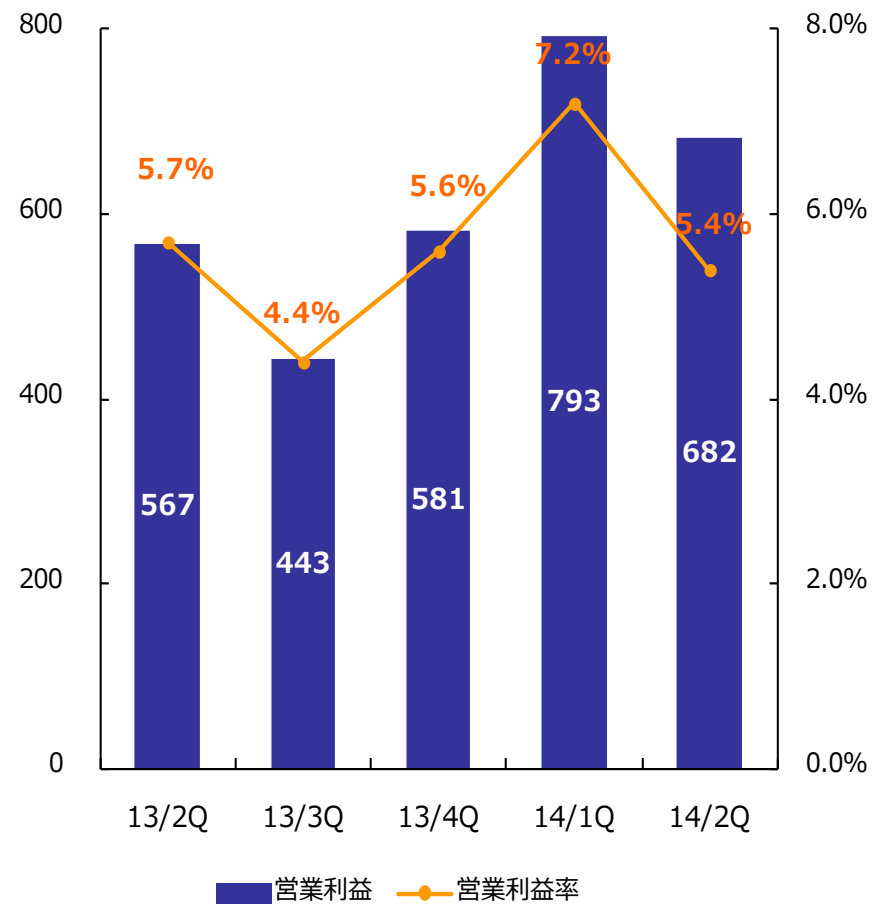
売上高・売上総利益

→ 売上高は過去最高を更新



営業利益

→ 前年同期比20.2%増



	2014年9月期 2Q			2013/9期 2Q (前年同期)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
売上高	12,641	100.0%	+26.8%	9,970	100.0%
売上総利益	2,072	16.4%	+20.6%	1,718	17.2%
販売管理費	1,390	11.0%	+20.9%	1,150	11.5%
営業利益	682	5.4%	+20.2%	567	5.7%

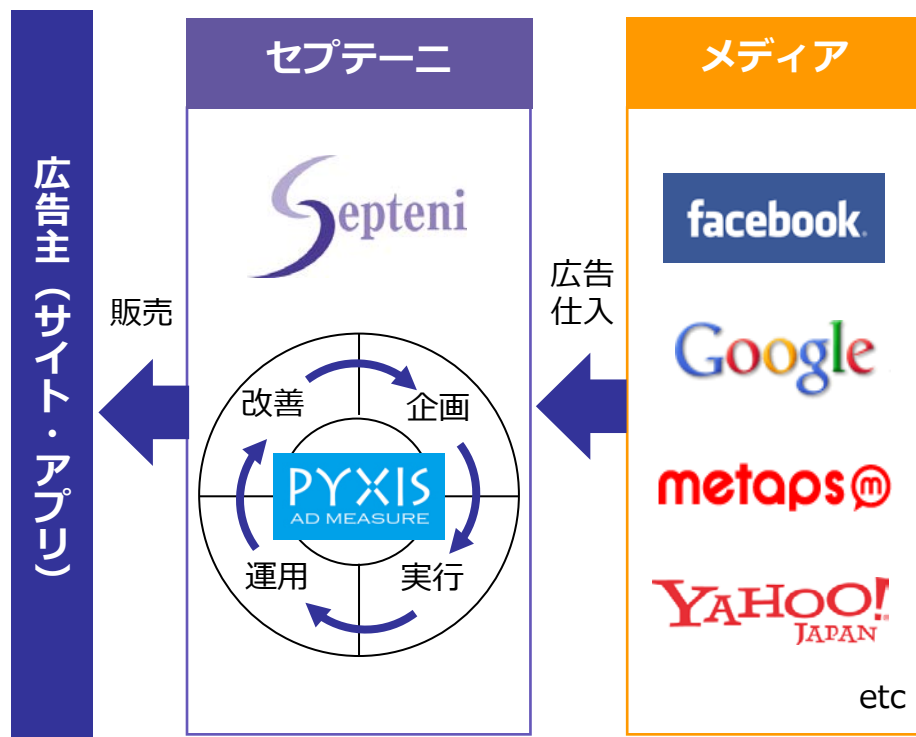
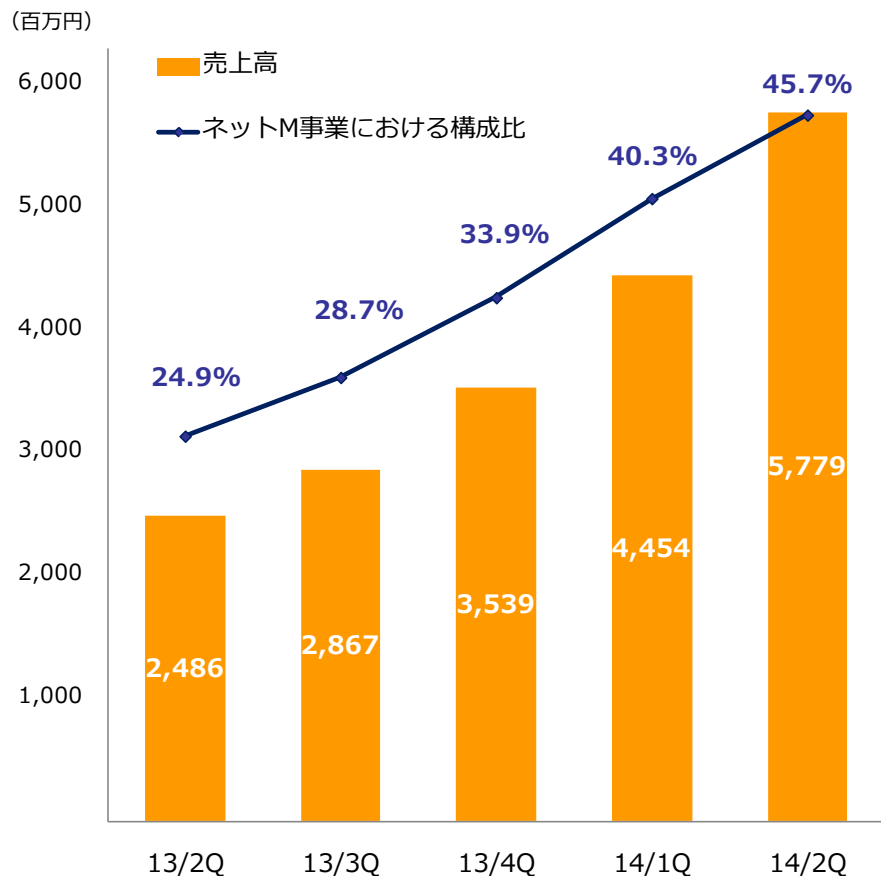
国内の期末需要の取り込みや海外売上の拡大により、前年同期比**26.8%増**の大幅増収
大型案件が増加し、顧客単価が上昇

売上総利益は**20.6%増加**（前年同期は15.2%増）し、20億円を突破
営業利益とともに、一時的な総利益増加要因のあった2014/1Qに次ぐ水準に

ソーシャル事業のスマホ比率向上とグローバル展開の進展によりスマホ広告の成長が加速

スマートフォン広告売上推移

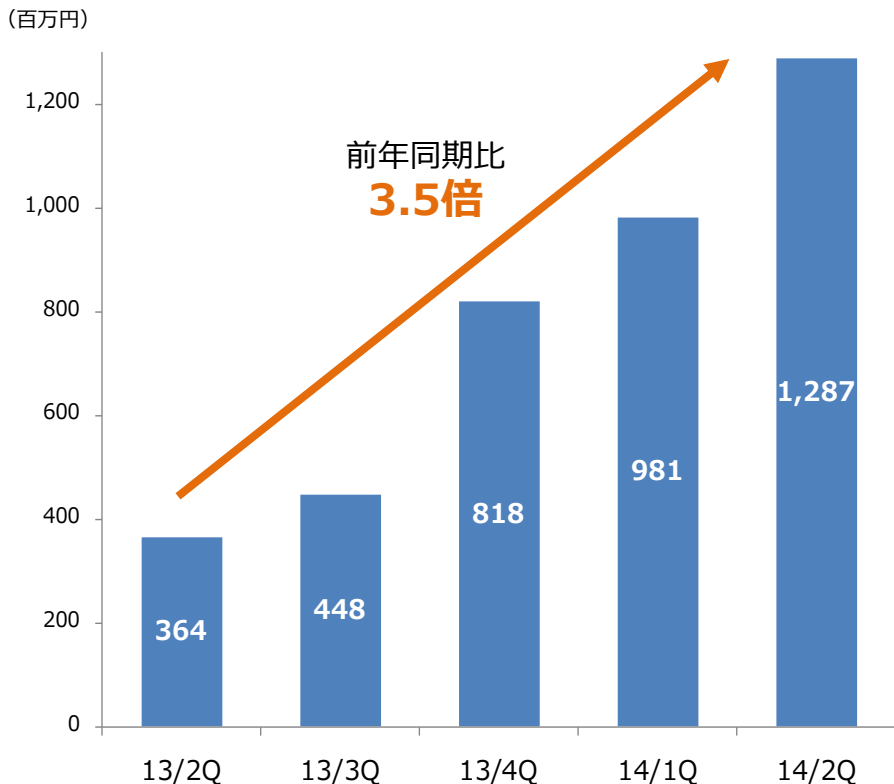
ビジネスモデル



売上高は前年同期比約**2.3倍**に拡大、売上構成比が**45%**を突破

アドネットワーク、ソーシャルメディアのシェアが上昇

ソーシャル事業売上推移 (Facebook、Twitter、LINEの合計)



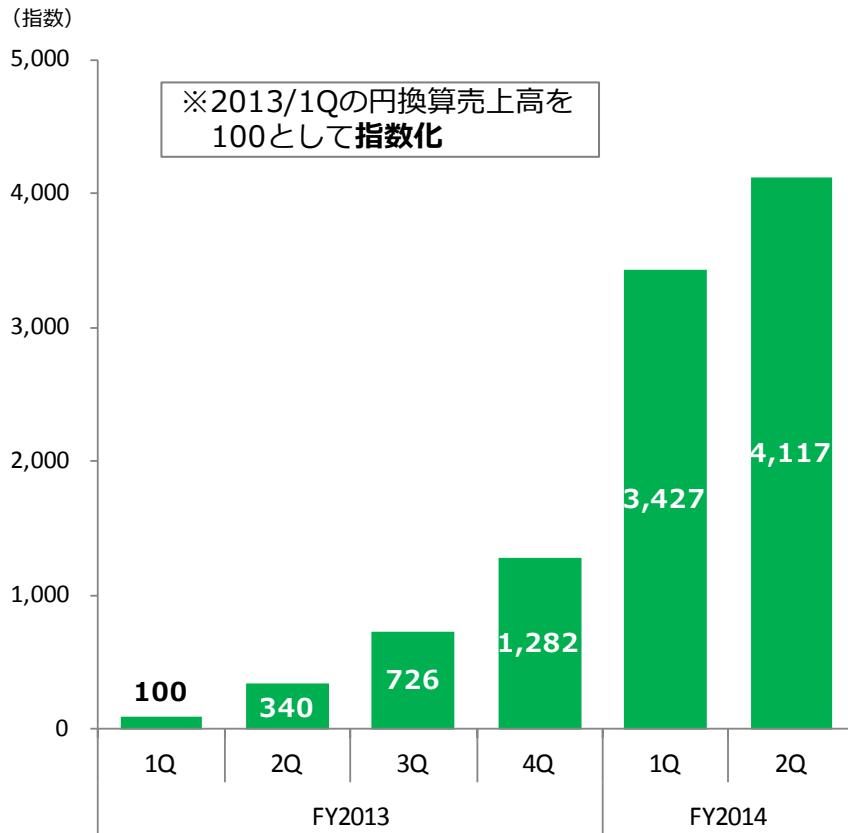
ビジネスモデル



Facebook関連サービスの高成長が続く
国内では顧客単価が上昇、海外ではアジア市場の開拓が進む

Twitter広告の取扱高が大幅に拡大

海外売上推移



ビジネスモデル

→ 海外に4か所の営業拠点を展開し、ネット広告のクロスボーダー取引体制を構築



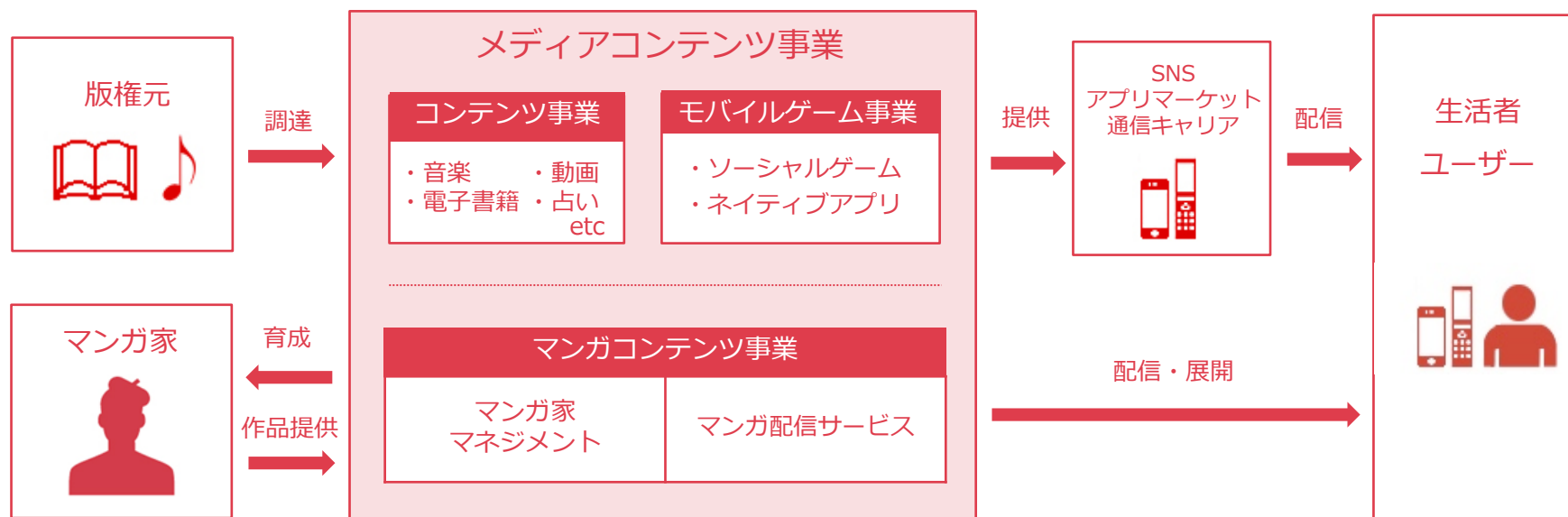
北米拠点の取扱高が順調に拡大、アジアの成長が加速

ロンドン(2月)とソウル(3月)に営業拠点を開設、欧州市場の開拓とアジア市場の強化を図る

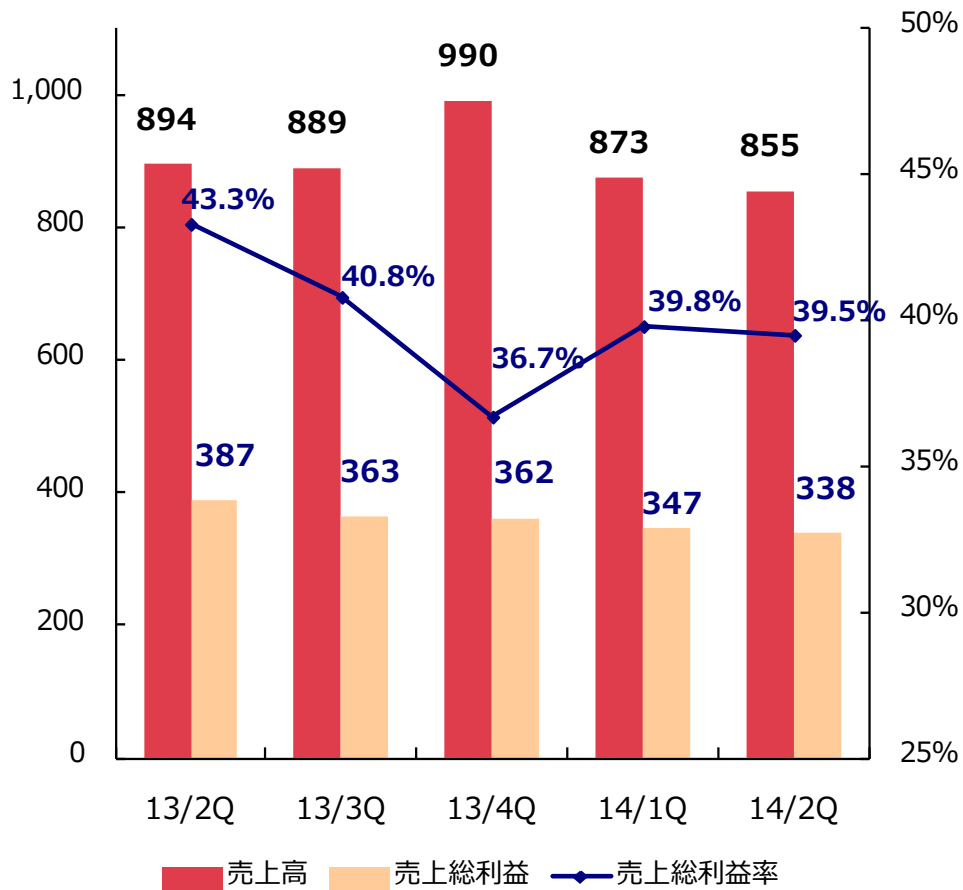
3. メディアコンテンツ事業

主にスマートフォン向けにソーシャルゲームをはじめとする**各種デジタルコンテンツを企画・開発**し、SNSやアプリマーケット等様々なプラットフォームを通じて生活者に提供。

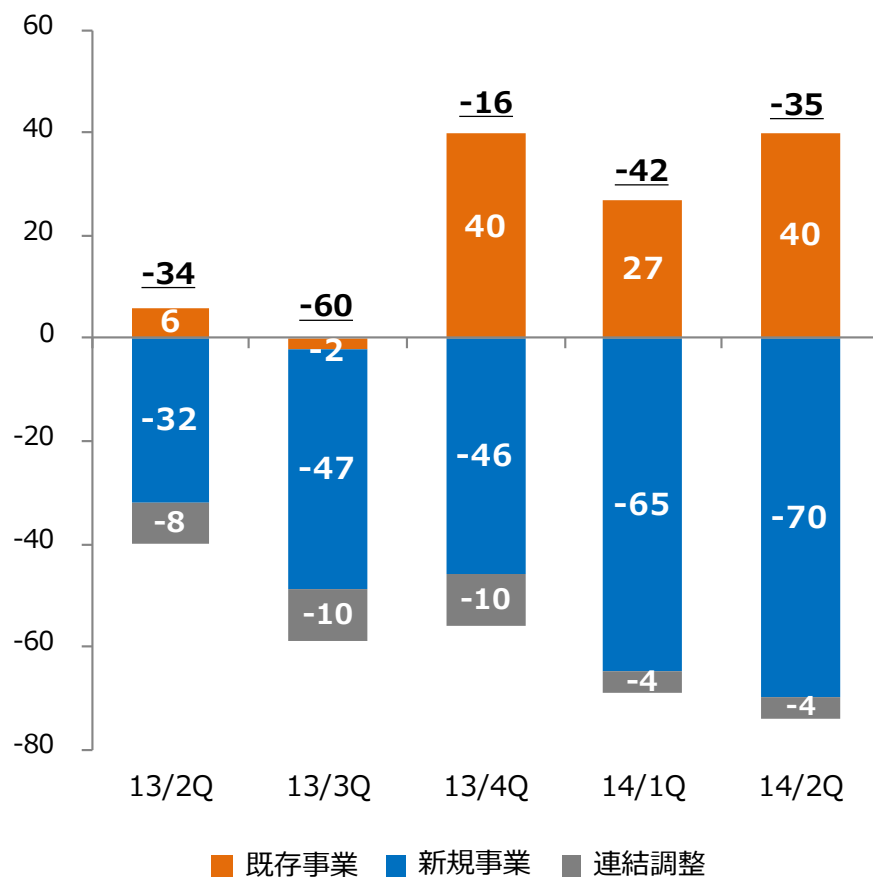
また、**自社IP（知的財産）の企画・開発**を目的に、マンガ家の育成・輩出、マンガ配信サービスの運営を手がける。



売上高・売上総利益



営業利益（内訳）



	2014年9月期 2Q			2013/9期 2Q (前年同期)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
売上高	855	100.0%	-4.3%	894	100.0%
売上総利益	338	39.5%	-12.6%	387	43.3%
販売管理費	373	43.7%	-11.5%	422	47.2%
営業利益	-35	-4.1%	(-0)	-34	-3.9%

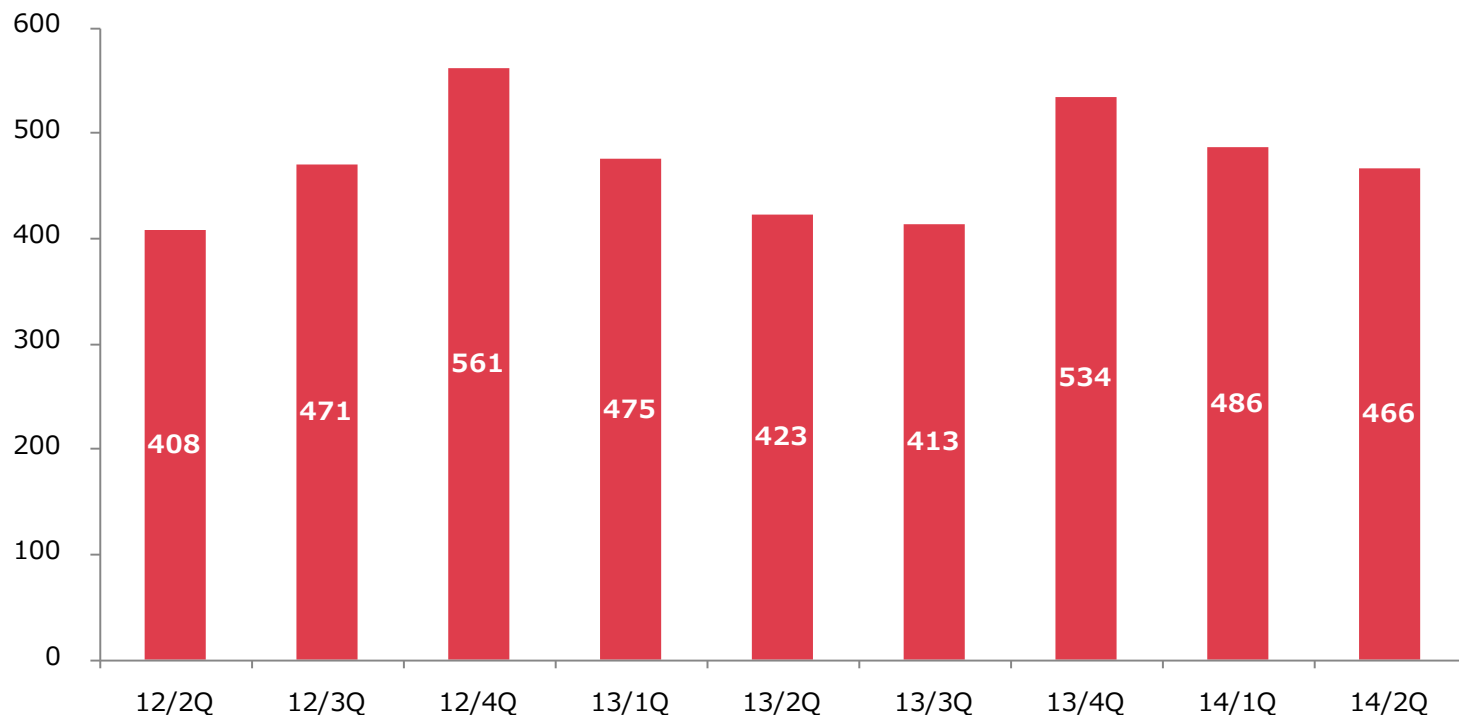
モバイルゲーム事業が堅調に推移

経費の抑制もあり、アクセルマークは40百万円の営業利益を確保

マンガコンテンツ事業を中心に新規事業への先行投資を拡大

新規事業に係る営業損失は70百万円に増加

アクセルマークのモバイルゲーム売上推移



©アクセルマーク/©E★エプリスタ



© SEGA Networks / © AXEL MARK

2Qは1Qに引き続きは新タイトルの投入はなかったものの、既存タイトルが堅調に推移し、前年同期比で増収を確保

gloopsとの協業タイトル「三国志トライブ」を3QよりMobageにて配信開始予定

開発中のフルネイティブアプリは3Q以降リリース予定



© gloops, Inc. © AXEL GameStudio Inc.

新人マンガ家支援プログラム「Route M」

- 支援内容をリニューアルしステージ制に

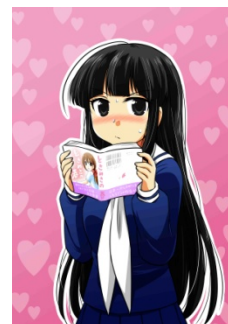


ステージ		支援金 (月額)	編集	スタジオ 利用	アシス タント	単行本 発行	総合プロ デュース
M5	GANMA!で 作品連載中	50万円	○	○	○	○	○
M4		30万円	○	○	○	○	—
M3		20万円	○	○	○	—	—
M2		15万円	○	○	—	—	—
M1	読切作品掲載 または企画中	10万円	○	○	—	—	—

連載型新作マンガ配信サービス「GANMA!」

- アプリのダウンロード数が30万を突破
- 2月以降新たに11作品を連載開始、
5/1時点の連載数は23作品に

連載作品例



「武蔵さんと村山さんは
付き合ってみた」



「猫はまたたび」



「バンギャループ」

4. 2Q累計の連結業績と3Q業績予想

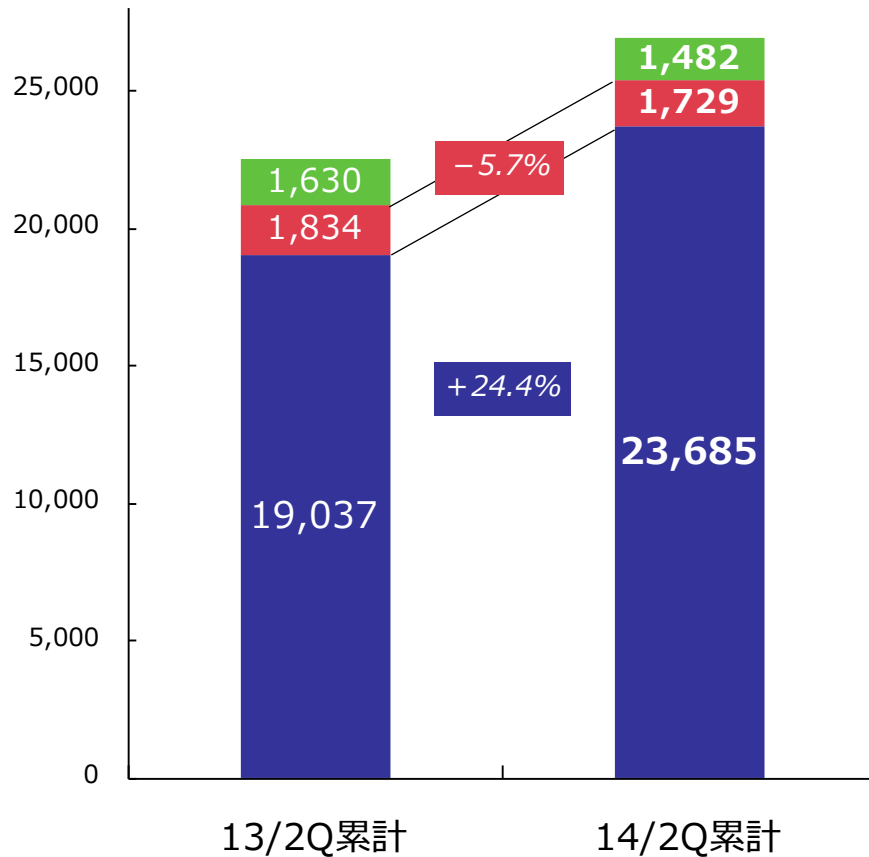
	2014年9月期 2Q累計			2013/9期 2Q累計 (前年同期)		2014/9期 2Q累計 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
売上高	26,779	100.0%	+19.2%	22,458	100.0%	25,832
売上総利益	5,094	19.0%	+16.3%	4,380	19.5%	—
販売管理費	3,800	14.2%	+5.3%	3,609	16.1%	—
営業利益	1,293	4.8%	+67.9%	770	3.4%	1,262
経常利益	1,380	5.2%	+56.8%	880	3.9%	1,317
当期純利益	789	3.0%	+7.1%	736	3.3%	763

大幅な営業増益を達成、**全ての項目で過去最高を更新**

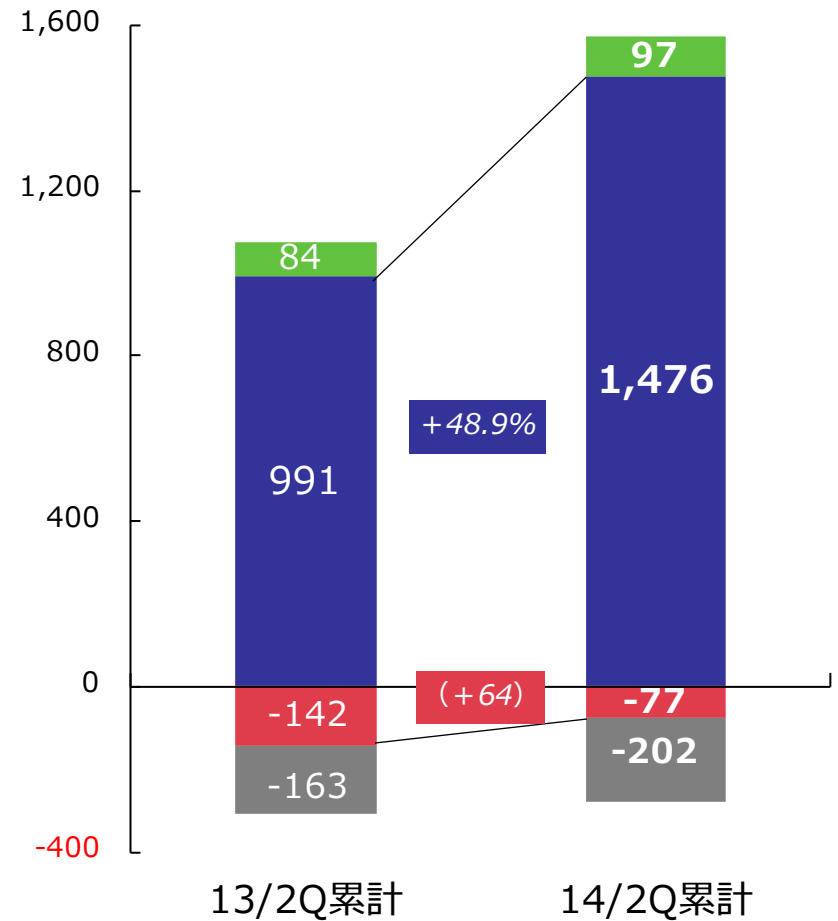
- ネットマーケティング事業における業容拡大と利益成長
- メディアコンテンツ事業の営業赤字幅が64百万円縮小

前年2Qにグループ会社売却に伴う特別利益313百万円を計上

売上高



営業利益



■ ネットマーケティング
 ■ メディアコンテンツ
 ■ その他
 ■ 調整額（全社費用等）

			2013年9月期 3Q累計実績			2014年9月期 3Q累計予想	予想成長率 (累計期間)
	2Q累計 実績	3Q実績	2Q累計 実績	3Q予想			
売上高	22,458	11,552	34,010	26,779	13,500	40,279	+18.4%
営業利益	770	323	1,094	1,293	350	1,643	+50.2%
経常利益	880	342	1,222	1,380	360	1,740	+42.3%
当期純利益	736	174	910	789	220	1,009	+10.8%

4月に新入社員が99名入社するなど、人材への先行投資を積極化
3Q（4-6月）は例年通り人件費を中心に販売管理費が増加する見通し

ネットマーケティング事業は前年同期比で増収増益を見込む

メディアコンテンツ事業は、モバイルゲーム・マンガコンテンツともに先行投資期が続き、
3Qは営業赤字が拡大する見通し

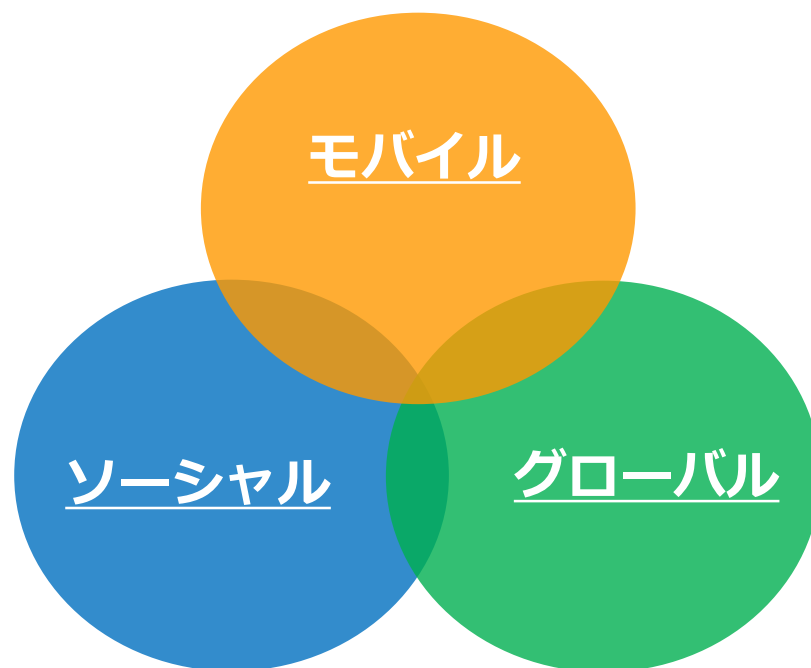
コンセプト

注力分野

「利益倍増」

高収益事業の構成比アップ

広告に次ぐ事業の柱をつくる



本日はありがとうございました。

お問い合わせ先

株式会社セプテーニ・ホールディングス

<http://www.septeni-holdings.co.jp>

経営企画部 広報・I R課

TEL : 03-6857-7258 E-mail : koho@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2014年5月1日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

5. 補足資料

2014年3月31日現在

会社名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代表者	代表取締役社長 佐藤 光紀 / 代表取締役会長 七村 守
所在地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー28F
証券コード	4293 (JASDAQ)
事業内容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設立日	1990年10月29日
資本金	2,045百万円
発行済株式数	27,118,600株 (うち自己株式1,784,600株)
連結従業員数	693名 (正社員) 、 831名 (従業員)

純粋持株会社

(株)セプテーニ・ホールディングス

2014年5月1日現在

ネットマーケティング事業

(株)セプテーニ	インターネット広告
MANGO(株)	SEMオペレーション
(株)Vasara	インターネット広告
(株)ハイスコア	ソーシャルメディア マーケティング支援事業
(株)イーグルアイ	アドネットワーク事業
(株)セプテーニ・オリジナル	自社サービスの企画・開発
Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.	アジア太平洋地域における インターネット広告事業
Septeni America, Inc.	北米地域におけるインターネット マーケティング事業
Septeni Europe Co.,Ltd	欧州地域におけるインターネット マーケティング事業
SEPTENI TECHNOLOGY CO., LTD.	ウェブサービスの開発等
(株)セプテーニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク
(株)エイエスピー	eマーケティング ソリューション事業
トライコーン(株)	CRMサービス事業

メディアコンテンツ事業

アクセルマーク(株)	モバイルコンテンツ事業
コミックスマート(株)	マンガコンテンツ事業
(株)ビビビット	マッチング型人材採用 プラットフォーム事業

その他

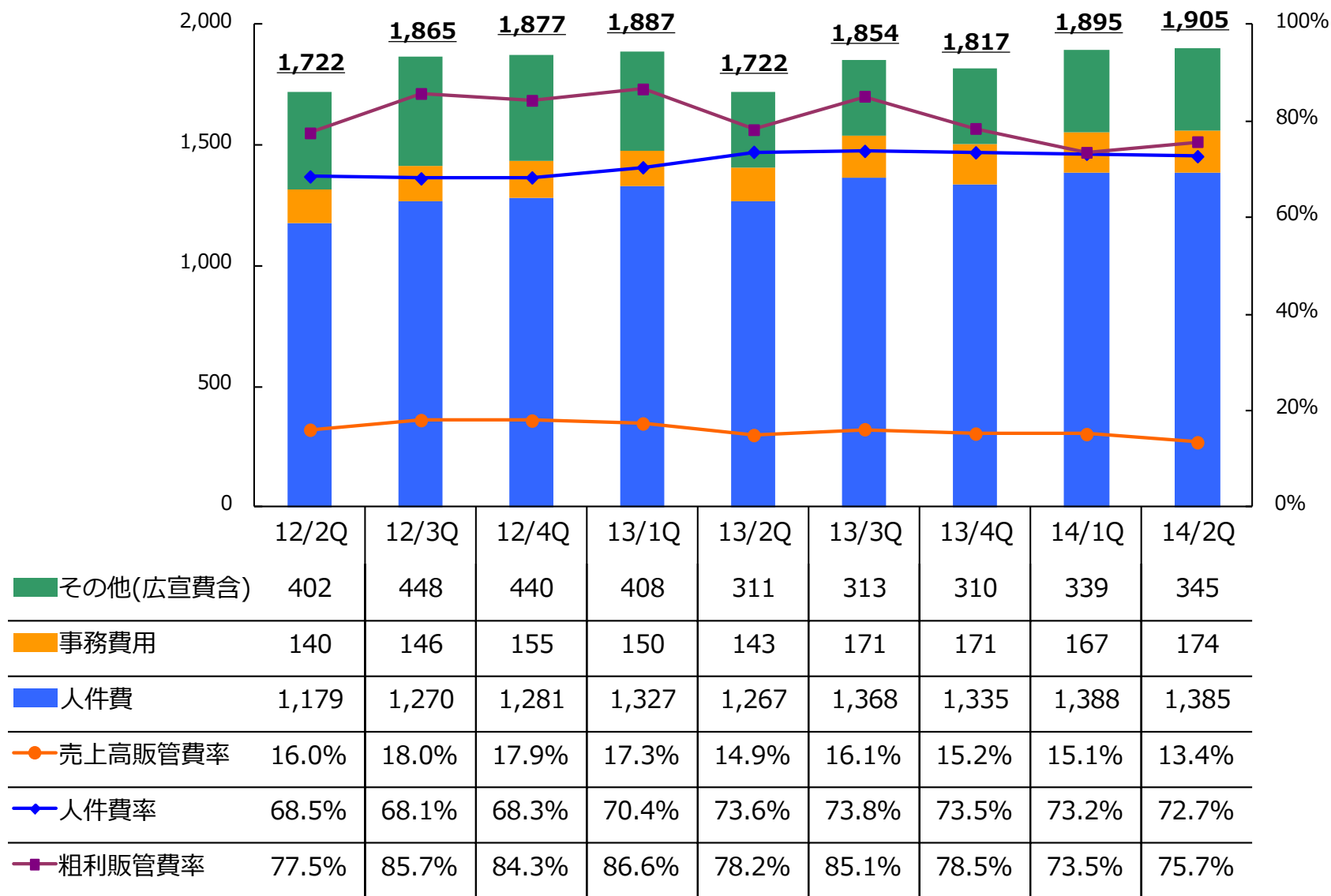
(株)セプテーニ・ダイレクトマーケティング DM事業

新規事業開発

(株)セプテーニ・ベンチャーズ

	2014年9月期 2Q末	2014年9月期 1Q末	増減	主な変動
流動資産合計	15,598	13,735	+1,862	現金及び預金 + 563 受取手形及び売掛金 + 1,536 未収入金 - 201
固定資産合計	2,472	2,490	-17	
資産合計	18,070	16,225	+1,845	
流動負債合計	8,968	7,516	+1,452	買掛金 + 1,196 未払法人税等 + 356
固定負債合計	43	43	-0	
負債合計	9,012	7,560	+1,452	
純資産合計	9,058	8,664	+394	利益剰余金 + 375
負債・純資産合計	18,070	16,225	+1,845	

	2014年9月期 2Q (1-3月)	主な内訳	2013年9月期 2Q (1-3月)
営業活動による キャッシュ・フロー	582	税金等調整前当期純利益 + 641 賞与引当金の増加 + 170 売上債権の増加 Δ 1,536 仕入債務の増加 + 1,196	231
投資活動による キャッシュ・フロー	Δ 479	定期預金の預入による支出 Δ 606 投資有価証券の売却による収入 + 100	741
財務活動による キャッシュ・フロー	Δ 39	借入金の増減 Δ 40	Δ 40
現金及び現金同等物に 係る換算差額	Δ 6		4
現金及び現金同等物の 増減額	57		937
連結子会社の合併による 現金及び現金同等物の増減額	—		2
現金及び現金同等物の 期末残高	6,729		5,762



(単位：人)

